

## 豊北・下関北・北高文化祭「ようこそ先輩」報告

文化祭のプログラム1ページ冒頭に文化祭テーマ「創史想愛」の説明が書かれていました。

——今年度のテーマは「創史想愛」です。私たちは、先輩や地域の方々が築いてきたこれまでの歴史と伝統の継承、守ってゆくとともに、新しい歴史を創っていくこととなります。そこで、今年度の文化祭のテーマを『創史想愛』にさせていただきました。このテーマは『相思相愛』という本来の言葉の意味をベースにしながらも、これまでの豊北高校の歴史と、そこに関わってきたすべてのことを想い、そして愛するとともに、これから創り上げていく豊北・下関北高校の新たな歴史に思いをよせたい、という意味を込めたものです。

ご来場されるみなさんに楽しんでいただけるよう、生徒一同、心をこめておもてなしをしていきたいと思っております。本日はごゆっくりお楽しみください。

山口県立豊北・下関北高等学校 生徒会長 池田 一磨 ——

また1ページの末尾には次のアピールが載せられていました。「今年度、全校での取り組みとして「ユネスコ 世界寺子屋運動」に参加します。「書きそんじハガキ」や「未使用切手」「未使用のプリペイドカード」「図書券」などご家庭にございましたら、是非、学校までお持ち寄りください。」

私は「ファッションショー」「吹奏楽部による演奏」を楽しみました。なかなか見ごたえのある、聞きごたえのあるものでした。文化祭テーマに込められた現役生の思いを先輩の一人として共有してゆきたいと思っております。

「ようこそ先輩」のために2年1組の教室全部を使わせていただきました。豊北高校3年生の川部那萌さんの浜出祭フォト・レポート50点を掲示し、それを見るために教室に来られた方も多数おられました。また、浜出祭の翌日の新聞各社の浜出祭記事を大判用紙に張り、掲示しました。

展示は昭和39年卒、私と同期の歴史学者樋口州男氏から送っていただいた浜出祭とモンゴル襲来に関する明治以降から現代にいたる学者たちの論文・書物、それに関する樋口氏の解説書簡を中心に、郷土の歴史家の方々の論文も併せて展示しました。

わたしの話は「浜出祭の歴史学—初めてたどる迷路の楽しみ」という題で、展示の論文・書物を読んで、面白かったこと、初めて知って驚いたこと、不思議に思ったこと、今に生きる私たちと無縁でないこと、次の浜出祭までの何ができるかなどの内容で、樋口氏の5月27日付の「浜出祭と蒙古襲来・研究史整理ノート」をガイドラインにして、高校生、中学生を含んだ市民の学び会を作りたいというアピールで締めくくりました。

10:30から12:00まで、これまでお会いしたことのある方々、初めてお会いする方々と楽しく語り合う時間を持つことができました。

このような時間を与えてくださった北高生徒会に感謝し、新しい伝統をつくり出す生徒会のリーダーシップにエールを送ります。

(s39年卒 岡崎新太郎)